

1. 開会

2. 本日の会議目的

3. ディスカッション

会議資料（シート）について

（今回の宿題について）会議資料として出してしまうと、会議の内容がそちらに誘導されてしまわないか心配。

- それぞれ書き込んでくるなどして持ち寄っていると思う。それらを合わせて議論し合えば大丈夫と思う。
- 今までのまちパワ委員会の経緯を知らない部分もあるので…
- だからこそいいと思う。条例も公表されれば、それまでの経緯を知らない多くの町民が目にすることになる。
- 意見・理解のギャップを埋めるためにも、まずは話し合ってみることが必要だと思う。
- 一つ一つの項目について行くと時間がかかる。「全体」についてと「ポイントとなる箇所」について、説明をいただければよいと思う。

まちパワ報告書について

パッと目にした時に、かなり完成度の高いイメージを持った

まちパワ委員であったか、そうでなかったかのギャップについて

少なくとも本日の議論で、今までまちパワ委ではスルーしていた点に、もう一度立ち止まって考えることができ良かった

まちパワ委に参加していた方々、参加していなかった方々の足並みを揃えるために、ワークショップの資料を送るのはどうか。

→ワークショップの資料だけ送っていただいても、それを理解するのに非常に苦労するため必要ない。

終わった後の模造紙だけ見ても、その議論の過程が見えてこず、理解が容易でない。

まちパワ委でも、そもそも条例化することを目的として考えてこなかった。

→だからこそ、まちパワ委だったか、そうでなかったかは考えず、スタートラインは皆一緒と考えればよいと思う。"

今後の進め方について

（次回）まちパワ報告書をベースに、個々の項目について「そもそも条文化すべきものなのか、そうでないものなのか」「条文化するとしたら、権利・義務・努力などどういった形で組み込ん

でいくか」「条文化しなくても、他の枠組みや仕組みの中で反映していけることもあるのでは
→だとすればどの枠組みで？」を仕訳けていく。その手法は事務局にお任せいただきたい。

次回会議：10月7日（月）開催